



Vol. 86

CONTENTS

【コラム】 学習管理システムを活用した実践的なアカデミック英語教育の取り組み… アリザデ メラサ

【解説】 新学習指導要領で求められる情報科教員の育成・採用・研修… 沼崎 拓也

【解説】 教材の公衆送信と著作権法改正… 隅谷 孝洋

COLUMN

学習管理システムを活用した実践的な アカデミック英語教育の取り組み



私は 2014 年から大阪大学に留学し、博士後期課程でコンピュータ支援言語学習 (Computer Assisted Language Learning, CALL) に関する研究を行っています。母国のイランでは、博士前期課程で英語教育を専攻しましたが、ICT を活用した言語学習支援への興味と、英語が第二言語となっている環境で英語教育に関する研究をしたいという思いから、この進路を選択しました。

現在は、英語圏への留学等を想定し、実践的な英語の運用能力の養成を目標とした授業のオンラインコースのデザイン・開発・実施・評価に関する研究を行っています。具体的には、リスニングやリーディングの学習が中心だったこれまでの「実践英語 e-learning」というオンラインコースを、4 技能 (リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング) をバランス良く学習し、実践的な英語を修得できるように改善しました。たとえば、受講生のレベルに応じて学習を進めていけるよう習熟度別の学習コンテンツの提供や、各コンテンツが英語 4 技能の習熟にどのように繋がるのかが明確になるようシラバスに記述し、受講生が目的意識を持って学習を進めていけるようにするなど、オンラインコースのデザインの見直しを行いました。また、隔週のスピーキングの課題では、スマートフォンを使用して各課題のトピックに従った 4 分程度の動画を受講生に作成してもらいました。本授業は 2017 年度の春学期より開講され、学期の終わりのコース評価のアンケートを通して、コースが受講生のニーズを満たし、実践的な英語スキルが向上したことを確認しました。また、オンライン・ブレンド型のコースの質評価を専門とするクオリティ・マターズ (Quality Matters) という組織によるコースデザイン評価を受け、現在は、コースが Higher Education Course Design Rubric (第 5 版)¹⁾ のすべての基準を満たしています。今後は、学習管理システムでの学生の学習行動、教材や掲示板へのアクセスパターン等の分析を行い、さらなる改善に繋がりたいと考えています。

最後に、ジュニア会員の皆様へ伝えたいことがあります。海外留学は私自身も初めての経験ですが、勉強や研究とともに、国際交流の素晴らしい機会であると思っています。皆様も留学の機会をぜひ作っていただき、より国際的な生活を体験していただければと思います。

参考文献

1) Quality Matters : Standards from The QM Higher Education Rubric (5th ed.) (2014), <https://www.qualitymatters.org/sites/default/files/PDFs/StandardsfromtheQMHigherEducationRubric.pdf> (Accessed 2018-7-1)

アリザデ メラサ (大阪大学)